

# **KDDI** ホスティングサービス 専用タイプ（M100～M300） セットアップガイド

Ver1.3

# はじめに

このたびは「KDDI ホスティングサービス」をご利用いただき、誠にありがとうございます。  
本紙『セットアップガイド』ではサーバーをご利用いただくにあたっての基本設定 (FTP、メールの設定) を順に追って説明しております。

また、ご利用開始日から課金開始日までの期間は動作確認期間となっております。

開通通知メールと合わせてお読みください。

今後ともKDDI法人向けサービスをよろしくお願いたします。

## お困りの時はこちらへ

### オンラインヘルプ

<http://pro.doc.secure.jp/>

オンラインヘルプとは『コントロールパネル』をサポートするオンラインマニュアルです。  
各種アプリケーションのバージョン情報なども掲載しています。  
操作に困ったときはこちらをご覧ください。

### ご相談ください

#### 法人お客さまセンター

**0077-7007 <無料>**

(音声案内の④を選択してください)

受付時間 平日9:00~18:00

(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールやウェブサイトの使い方が分からない、コントロールパネルの使い方が分からないなど、お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

#### お問い合わせフォーム

<https://www.kddi.com/business/support/contact/cloud/>

# サーバー利用開始までの流れ

新規のお客さま – はじめてドメイン名を取得されたお客さま

ページ

開通通知書

お申込後、約2週間でKDDIより開通のお知らせをお申込者宛てにメールで送付いたします。

5

共通

コントロールパネルにログイン

コントロールパネルにログインし、各種設定を行う準備をします。

7

ウェブ

FTPアカウントの作成  
コンテンツのアップロード

メール

メールアカウントの作成  
メールソフトを設定

10

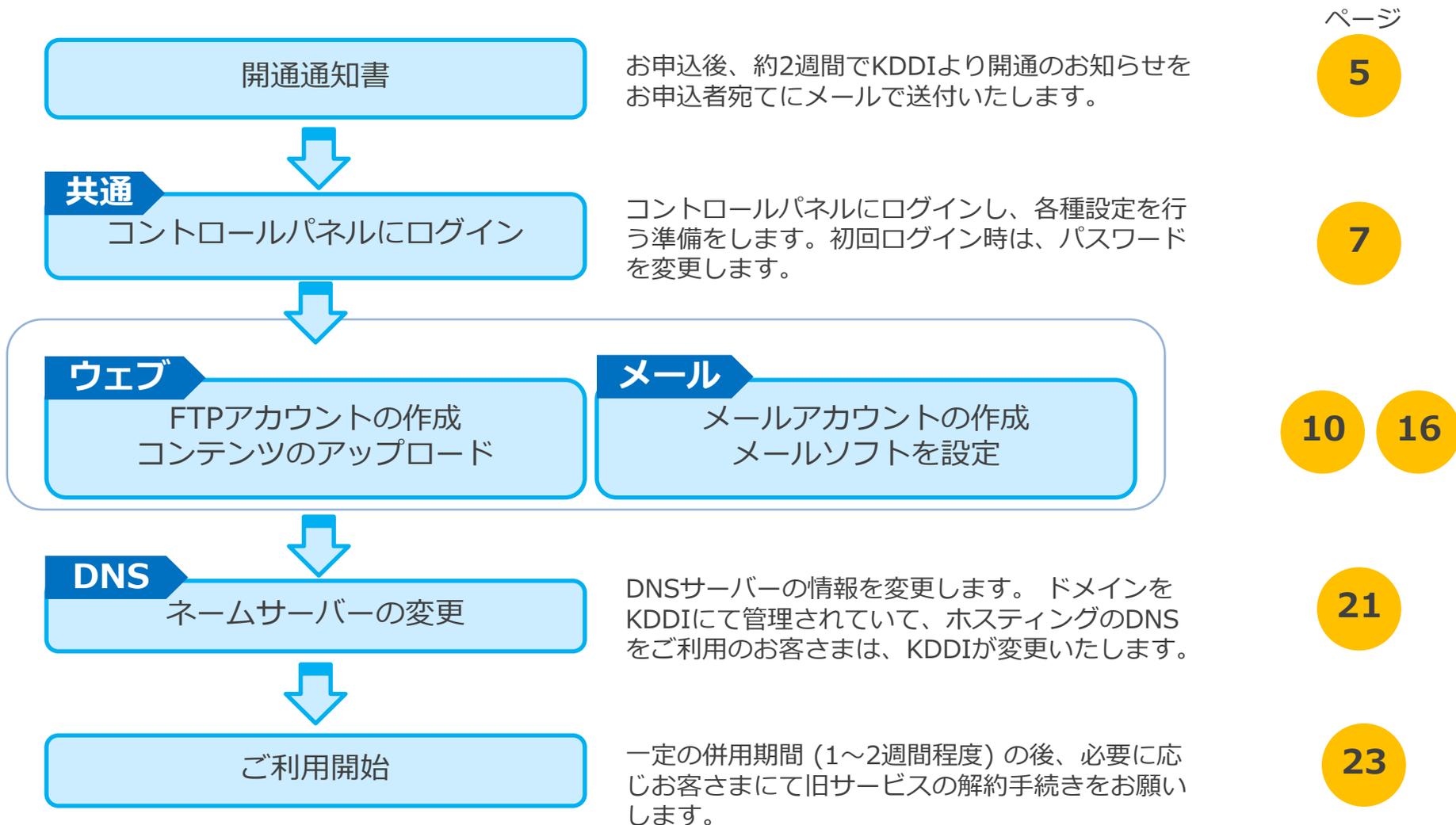
15

ご利用開始

23

# サーバー利用開始までの流れ

移転のお客さま – 他社サービスから移転されたお客さま



# 開通通知書

サーバーの設定完了後、KDDIより開通の通知メールが届きます。

差出人： KDDI法人お客さまセンター  
件名：【重要】KDDI ホスティングサービス開通のご連絡

本文：

KDDI ホスティングサービス 開通のご連絡 (開通通知書)

〇〇株式会社 御中

この度は、KDDIホスティングサービスをご利用いただきまして誠に有難うございます。

お客さまの登録が完了しましたことをご報告申し上げます。送付いたしました内容につきまして、ご質問などがございましたら、弊社問い合わせ窓口までご連絡ください。

<ご契約内容>

- ご契約ドメイン名 : example.jp
- ご契約プラン : KDDIホスティングサービスM100
- KDDIアクセス番号 : xxxxxxxxxx
- ご利用開始日 : 2008/4/22
- 課金開始日 : 2008/4/25
- ネームサーバー設定変更日 : 2008/4/26 17:00 (or AM/PM)

・・・  
・・・

info

お客さまがメール、ウェブなどの準備を行う上で重要な情報がありますので、**本メールを削除しないようご注意ください、大切に保管**いただけますようお願い申し上げます (弊社へお問い合わせいただく際に「KDDIアクセス番号」などが必要となります)。

info

お申込時にご記入いただいたお客さまご担当者様のメールアドレスへ送信します。お客さまのメール環境にて迷惑メールフィルタを使用していて、**迷惑メールと判定された場合は、届かない可能性も**ございます。その場合、隔離BOXをご確認いただくか、2週間 (10営業日) 経っても確認できない場合は、弊社法人お客さまセンターまでお問い合わせください。

# 開通通知書の詳細

## <ご契約内容>

ご契約ドメイン名	お客様のドメイン名です。
ご契約プラン	ご契約されたプラン名です。
KDDI アクセス番号	アクセス番号となります。弊社へお問い合わせの際にお伝えいただく番号となります。
ご利用開始日	この日からご利用することができます。
課金開始日	この日から料金が発生いたします。
(ネームサーバー設定変更日)	(一部の場のみ) ネームサーバーを変更する日時

## <お申込者情報>

お申込受付番号	ウェブサイトからのお申込時の受付番号です。
---------	-----------------------

## <ご契約サーバー情報>

お客様ウェブサイトURL	お客様のウェブサイトのURLです。お客様のトップページとなります。
IPアドレス	お客様のサーバー領域に割り当てられたIPアドレスです。
ご利用のサーバー名	お客様のサーバー名称です。保守・障害情報のご連絡の際はサーバー名で行われます。
共用SSLを使用する場合のURL	共用SSLで暗号化するためのURLです。ファイル名はお客様がアップロードしたファイル名です。
DNSサーバー (プライマリ)	プライマリのDNSサーバー名です。
DNSサーバー (セカンダリ)	セカンダリのDNSサーバー名です。
POPサーバー	メールサーバー名です。
SMTPサーバー	メールサーバー名です。
FTPサーバー	FTPサーバー名です。

## <コントロールパネルへのログイン情報>

URL	お客様のコントロールパネルのURLです。
ユーザーID	コントロールパネルにログインするIDです。
パスワード	ログインパスワードです。管理者用メールアドレスpostmaster@ (お客様ドメイン名) の初期パスワードにもなります。

## <マニュアル>

オンラインヘルプURL	コントロールパネルのオンラインヘルプです。
-------------	-----------------------

## <サポート>

お問い合わせフォーム	ご不明点などはこちらのフォームからお問い合わせいただけます。
障害・保守情報	障害発生時や、保守情報はこちらに掲載いたします。

## <マニュアル>

オンラインヘルプURL	コントロールパネルのオンラインヘルプです。
-------------	-----------------------

## <サポート>

お問い合わせフォーム	ご不明点などはこちらのフォームからお問い合わせいただけます。
障害・保守情報	障害発生時や、保守情報はこちらに掲載いたします。

# コントロールパネルにログイン

サーバー管理ツールの『コントロールパネル』へログインし、アカウントなどの設定作業を行います。

- ・FTPアカウントの作成やメールアドレスの作成などが行えます。
- ・ソフトウェアのインストールや各種ツールのご利用なども行えます。

1 ブラウザからアクセスします。



アドレスの欄に、開通通知書記載のURL (コントロールパネルへのログイン情報) を入力します (図は入力例です)。

2 ユーザー名とパスワードを入力します。

開通通知書記載のユーザーIDとパスワードを入力します (図は入力例です)。

# コントロールパネルの概要

お客さま設定情報、メール・FTPアカウント、ライブラリなど各種設定やインストールができます。

The screenshot shows a control panel for 'example.co.jp'. The main navigation bar includes 'ホーム', 'お客様情報', 'メール', 'FTP/ファイル管理', '制作ツール', 'ソフトライブラリ', 'ログ管理', 'サポート', and '機能一覧'. A 'ログアウト' button is in the top right. A warning message at the top left says '【お読みください】PHPのご利用方法について'. Below this is a 'Category' section with icons and links for 'お客様情報', 'メール', 'FTP/ファイル管理', '制作ツール', 'ソフトライブラリ', 'ログ管理', 'サポート', and '機能一覧'. On the right side, there is a 'ショートカットメニュー' with a dropdown menu set to '【ホーム】'. Below that is a 'お客様のご利用状況' section with a '契約情報' table and a 'ディスク使用状況' pie chart. The '契約情報' table shows server name, IP address, and monthly web transfer volume. The 'ディスク使用状況' pie chart shows usage for 'ウェブ', 'メール', 'データベース', and '空き容量'. At the bottom, there are 'BACK' and 'TOP' buttons.

## お客さま情報

- パスワード変更
- プログラムのパスとサーバーの情報

## メール

- メールアカウント管理
- 転送設定
- スпам件名表示
- 自動応答
- ...ほか

## FTP/ファイル管理

- FTPアカウントの設定
- FTP接続制限の設定
- Get a File
- ...ほか

## 製作ツール

- データベース
- サイト全文検索エンジン
- アクセス制御 (BASIC認証)
- ...ほか

## ソフトライブラリ

- アクセスカウンタ
- CMSインストーラ
- 高機能フォーム作成ウィザード
- ペンギンオフィス2
- ...ほか

## ログ管理

- アクセスログ分析
- ...ほか

## サポート

- 障害・メンテナンス情報
- オンラインヘルプ

## 機能一覧

- 機能の一覧表示

# パスワードの設定

初回ログインの場合、コントロールパネルのパスワードを変更します。

- ・パスワードの変更は必須ではありませんが、強くおすすめいたします。

1 【お客さま情報】から【パスワード変更】を選びます。



2 新しいパスワードを入力します。



■パスワードに使用できる文字は半角英数A-Z、a-z、0-9と特殊文字- (ハイフン)、\_ (アンダーバー)、.(ドット)です。

■変更したパスワードは忘れないよう、ご注意ください。また、定期的に変更することをおすすめいたします。

# FTPアカウントの作成

ウェブサイトコンテンツをサーバーへアップロードするためにFTPアカウントを作成します。

- ・コントロールパネルにてFTPアカウントの作成し、クライアント(パソコン)側でFTPソフトへそのアカウントの設定を行います。
- ・FTPアカウントはセキュリティ上、初期状態では設定されておりませんので、1つ目から作成します。
- ・設定可能なFTPアカウント数はご契約プランにより異なりますので、コントロールパネルの表記をご確認ください。

## 1 【FTP/ファイル管理】から【FTPアカウントの設定】を選びます。



## 2 各項目を記入し、【設定変更】をクリックします。

【FTPアカウント】には任意の英数字(半角)で入力します。  
 【パスワード】には任意の設定したいパスワードを2回確認のため入力します。  
 【ログインディレクトリ】にはFTPアカウントでログインするディレクトリをプルダウンメニューから選択します。インターネットに公開するには、ログインディレクトリを/htmlにしておく便利です。

info

**ログインディレクトリとは**  
 FTPで接続する際の最上位のディレクトリ(最初にアクセスするディレクトリ)です。設定したディレクトリより上位のディレクトリにはアクセスできません。

info

**禁止アカウント名**  
 "root"、"nobody"、"access"、  
 "account"、"backup"、  
 "user"、"test"および  
 "ftp0"～"ftp9"というアカウント名  
 はセキュリティ上、使用できません。

# FTPアカウントの作成

- 【FTPアカウント[\*\*\*\*]の設定変更を完了しました】の表示で設定完了です。
- FTPソフトの設定 (お客さまご使用のFTPソフトに合わせ設定してください)

例：FFFTPの場合

例：FFFTPの場合

【ホスト名 (アドレス)】	FTPサーバー名またはIPアドレス
【ユーザー名】	②、③ で設定したFTPアカウント
【パスワード】	②、③ で設定したパスワード
【ホストの初期フォルダ】	『コントロールパネル』で既に設定されているため、空欄でOK

## info

### 【ご注意】他社から移行するお客さま

現在運用中のサーバーがある場合、【ホスト名 (アドレス)】には、IPアドレスを設定してください。IPアドレスは別頁『開通通知書』の<ご契約サーバー情報>を参照してください。

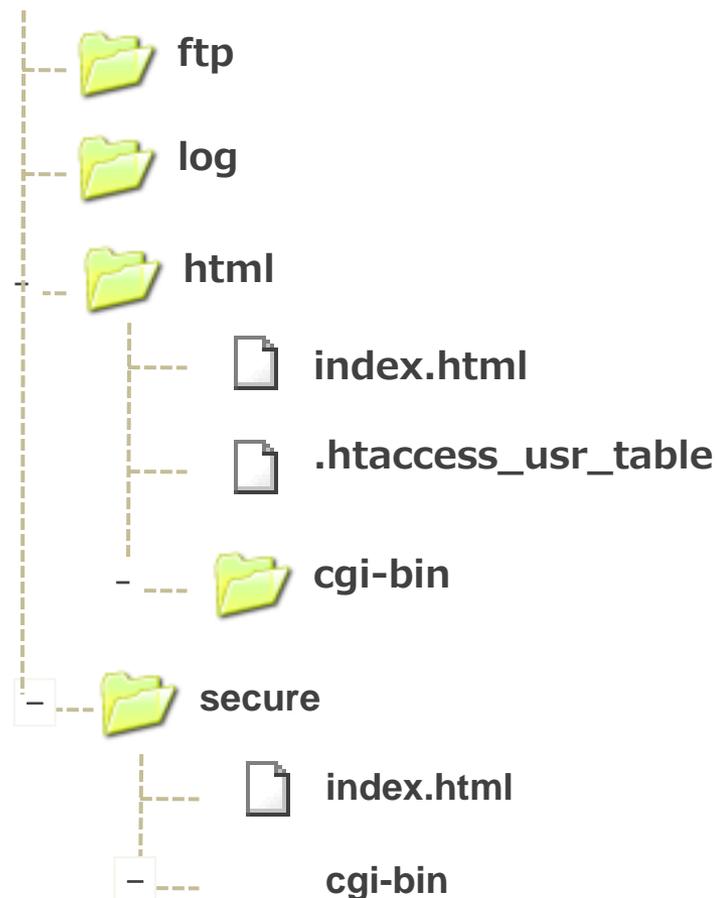
## info

### 【ご参考】その他のソフト

その他のFTPソフトの設定方法などは、オンラインヘルプを参考にしてください。  
<http://pro.doc.secure.jp/ftp/ftpsoft/>

# ディレクトリ構成

## / <ルートディレクトリ>



**ftp** [AnonymousFTP用ログインディレクトリ]

AnonymousFTPの際に使用します。

**log** [ログファイル用ディレクトリ]

過去3カ月分のアクセスログとエラーログが保存されています。  
3カ月を経過したアクセスログとエラーログは自動で削除されます。

**html** [httpドキュメントルート]

ウェブに公開するファイルをアップロードするディレクトリです。  
ここにhtmlファイルをアップロードしてください。

**index.html**

ディレクトリトップページ

**.htaccess\_usr\_table**

アクセス制限の機能をインストールすると表示される  
ファイルです。

**cgi-bin**

CGIスクリプトを入れるディレクトリです。Html  
ファイルや画像をアップロードしてもブラウザで  
表示されません。

**secure** [httpsドキュメントルート]

SSLを利用するページをアップロードするディレクトリです。  
SSLをウェブサイトに適用する場合は、ここにhtml  
ファイルをアップロードしてください。

**index.html**

ディレクトリトップページ

**cgi-bin**

CGIスクリプトを入れるディレクトリです。

# ファイルをアップロードする

ウェブサイトコンテンツをサーバーへアップロードします。

- ・FTPアカウントの設定とFTPソフトの準備ができたなら、お客さまが作成したファイルをアップロードします。
- ・トップページのコンテンツファイルをアップロードします。トップページの動作確認と、正常に表示されない場合の対処方法について説明しています。

## 1 初期状態のトップページを確認します。



初期状態では、左のようなページが表示されます。

## 2 お客さまが作成したファイルをアップロードします。

インターネットで公開するファイルは、`"/html"`ディレクトリ以下もしくは、`"/secure"`ディレクトリのどちらかに設置します。この2つのディレクトリ以外はインターネットに公開されません。

普通に公開するのであれば、`"/html"`ディレクトリ以下にファイルをアップロードしてください。  
SSLで公開（データの暗号化による安全性を確保）するのであれば、`"/secure"`ディレクトリ以下にファイルをアップロードしてください。

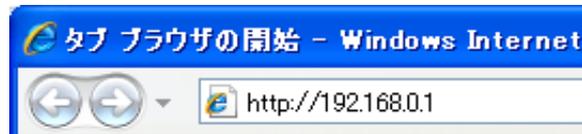
### info

#### 【ご注意】公開ディレクトリ

`/html`、`/secure` ディレクトリはインターネットに公開されているディレクトリです。基本的にこれらのディレクトリ以下のファイルには、だれでもアクセス可能なので、設置するファイルには十分注意してください。

# ファイルをアップロードする

## 3 動作確認をします。



動作確認時は、IPアドレスでアクセスします。

**info** 【ご参考】 正常に表示されない場合は、以下の項目をチェックしてみてください。

### ■ アップロードするディレクトリを確認する

アップロードするディレクトリは、“/html”ディレクトリ、もしくは“/secure”ディレクトリ以下です。指定ディレクトリにファイルがアップロードされているかご確認ください。

### ■ 転送モードを確認する

転送モードとは、そのファイルを転送する時にテキストモードで転送するか、バイナリモードで転送するかの設定です。

- ・ HTMLファイル、テキストファイル、CGI → テキストモードで転送
- ・ 画像ファイル、動画ファイル → バイナリモードで転送

これらが適切でないと正常にファイルが表示されません。

通常は自動判別モードが主流になっていますので、FTPソフト自体が自動でファイルを認識し、転送モードを切り替えてくれるようになっています。そのためそれほど気にする必要はありませんが、転送したページが動作しなかったりした時はここを確認してみるといいかもしれません。

### ■ パーミッションを確認する

サーバーのフォルダやファイルにはパーミッションという設定があります。これはアクセス権限のことで、誰がどのような操作をしてもいいかをディレクトリやファイルに設定するものです。ディレクトリはすべて755もしくは705がいいでしょう。ファイルは通常644もしくは604でかまいませんが、CGIなどの実行ファイルの場合には755もしくは705を付与してください。

### ■ 拡張子を確認する

indexファイルはファイル名を入力しない場合に優先的に表示するファイルですが、同じindexファイルでも拡張子によって表示に優先順位があります。

1. index.html → 2. index.shtml → 3. index.cgi → 4. index.html → 5. index.htm → 6. index.php

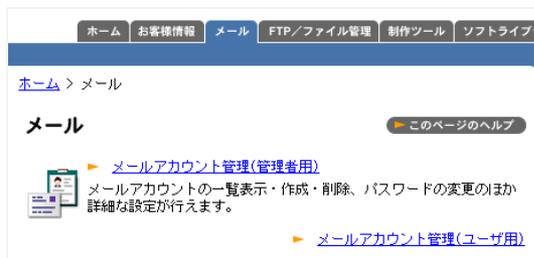
例えば、index.htmlとindex.htmが同じディレクトリにアップロードされている場合には、優先順位の高いindex.htmlが表示されます。もしインデックスファイルをアップロードしたのに、弊社初期設定のインデックスファイルが書き変わらない場合には、拡張子を確認してください。

# メールアドレスの作成 (管理者用)

メールを利用するためにアカウントを作成します。

- ・サーバー管理ツールの『コントロールパネル』で設定作業を行います。
- ・メール設定は [管理者用設定] 画面と [一般ユーザー設定] 画面があります。管理者は『コントロールパネル』の [メール設定] 画面で、各ユーザーに割り当てたメールアドレスの設定や変更をしたり、メール受信用のパスワードを忘れた場合にも変更できます。

## 1 【メールアドレス管理 (管理者用)】画面を開きます。



メールアドレスの新規作成は、『管理者用』で作成します。

## 2 【アカウント名】、【パスワード】を入力し、【登録】します。

info

### 【ご注意】 アカウント名の制限

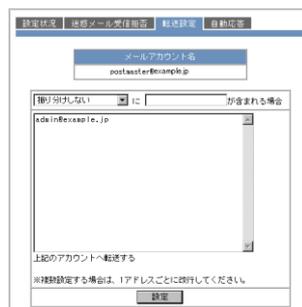
半角英数字で作成します。記号は、“-”、“\_”、“.”の3種類  
1文字のメールアドレスは作成できません。(2~32文字)  
(例： a@example.co.jp)  
記号ではじまるメールアドレスは作成できません  
(例： \_abc@example.co.jp)  
記号で終わるメールアドレスは作成できません。  
(例： abc\_@example.co.jp)

# postmasterの転送設定（管理者用）

Postmaster（初めからあります）の転送設定します。

- ・ postmasterのアドレスは、KDDIより重要な連絡などをメールでご案内する場合に使用いたします。
- ・ お客さまの管理者用メールアドレスを作成したら、postmasterのメールアドレスについて、管理者用メールアドレスへ転送する設定をしておいてください。
- ・ postmasterのアカウントは削除しないでください。また、初期パスワードはコントロールパネルの初期パスワードと同様です。

1 【メール】より【転送設定】画面を開き、『postmaster@...』を選択します。



- ① メールアカウント名 : postmaster@ (お客さまドメイン名)
- ② 『振り分けしない』 : (すべてのメールを転送する)
- ③ 転送先のアドレス名を記入
- ④ 設定ボタンをクリック

2 【設定状況】タブを選択し、【POP受信不可にする】ボタンをクリックしてBOXに残さない設定にする。

各種機能	設定状況	設定
[SPAM] 件名表示	無効	<input type="button" value="有効にする"/>
迷惑メール受信拒否	0	<input type="button" value="編集する"/>
モバイル@ドメイン	未設定	<input type="button" value="設定する"/>
転送設定	1	<input type="button" value="編集する"/>
自動応答設定	未設定	<input type="button" value="編集する"/>
POP受信可能にする	受信可能	<input type="button" value="受信不可にする"/>



※本設定を行うと、postmasterのBOXにはメールは残さず、転送いたします。postmasterのBOXにメールを残したい場合は、本設定は必要ありません。



設定状況：『受信不可』となります。

# メールアカウントの設定（一般ユーザー用）

一般ユーザーが自分のメールアカウントの設定をすることができます。

- ・パスワードの変更や転送設定、自動応答などの設定を行えます。

## 1 設定画面にログインします。



入力例：

<https://x999.secure.ne.jp/public/cgi-bin/mailadmin/gate.cgi>

(お客様のサーバー名)

ログイン画面

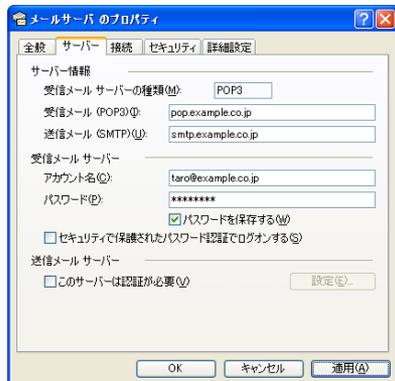
ドメイン名	メールアドレスの@マークより後ろの部分
アカウント名	メールアドレスの@マークより前の部分
パスワード	メールのパスワード

## 2 各種必要な項目を設定します。

- ・ **[SPAM]件名表示**  
迷惑メールと判定した時に、メールの件名に[SPAM]と表示します。
- ・ **迷惑メール受信拒否**  
受信したくないメール（迷惑メール）の情報を設定し、受け付けないようにします。
- ・ **転送設定**  
受信したメールの転送を行う場合に設定します。
- ・ **自動応答設定**  
自動で返信する場合に設定します。

# メールアカウントの設定（一般ユーザー用）

- 3 メールソフト（メーラ）の設定をします。  
 メールソフトはOutlook ExpressやEudora、Becky!など一般的なものであれば問題はありません。  
 メールソフトに設定する一般的な項目は以下のものが挙げられます。



例：Outlook Expressの場合

受信メール (POP)	メールサーバー名
送信メール (SMTP)	メールサーバー名
アカウント名	メールアドレス
パスワード	[メール設定] 画面で設定したパスワード

## info

### 【ご注意】

#### ■ メールサーバーのIPアドレスのご確認

『サーバー移転のお客さま』は、SMTPサーバー名、POPサーバー名はメールサーバー名ではなくIPアドレスを入力することで本サーバーにアクセスできます。

#### ■ そのほかのメールソフト

そのほかのメールソフトの設定方法などは、オンラインヘルプを参考にしてください。

<http://pro.doc.secure.jp/mail/mailsoft/>

# 補足：ウェブメールについて

メールアカウントを作成すると、ウェブメールもご利用いただけます。

コントロールパネルトップにウェブメールのリンクがございます。

ウェブメールのログイン画面では、作成したメールのメールアドレスとパスワードを入力してください。

ウェブメール ([Active!mail](#) | [多機能](#) | [シンプル](#)) | [メール管理\(ユーザー\)](#) | [セキュアファイルマネージャー](#) | [MySQL4.0管理](#) | [MySQL5.0管理](#) | [PostgreSQL管理](#) | [Urchin](#)

info

## Active!Mail

Active!Mailをご利用の場合は、メールアカウント数は最大50アカウントまでとなります。コントロールパネルでメールアカウントを作成するのは、50個までとなりますので、ご注意ください。それ以上は作成できません。また、弊社のDNSサーバーを利用されていないお客さまはご利用いただけません。

info

## 携帯電話対応タイプ

携帯電話対応タイプをご利用の場合は、「[http://www.\(お客さまのドメイン\)/i-bmail/](http://www.(お客さまのドメイン)/i-bmail/)」へ携帯電話からアクセスしてください。ユーザーIDにはアカウント名 (taro@example.jpならば、『taro』) とパスワードにはメールのパスワードを入力してください。ご利用の環境や設定携帯電話の機種、メールの内容 (特殊なコードを使用しているなど) などによって文字化けが発生することがあります。ご了承ください。

# ネームサーバー (DNS) の変更

**他社などからサーバー移転されるお客さまはご確認ください。**

DNS変更作業により変更した情報はすぐに切り替わるのではなく、徐々に反映されていきますので、一時的に (およそ1週間~2週間程度) DNSの情報 (新旧2つのサーバー情報) が重複してしまいます。そのため、ウェブアクセスやメール配信などが、新旧2つのサーバーどちらにも振り分けられることとなりますので以下のような対策をします。

## ウェブ

コンテンツの更新は、新旧2つのサーバー、同時に行ってください。  
本サービスのサーバーはIPアドレスベースでアクセス可能です。お客さまのIPアドレスは開通通知書の『ご契約サーバー情報』に記載されています。

## メール

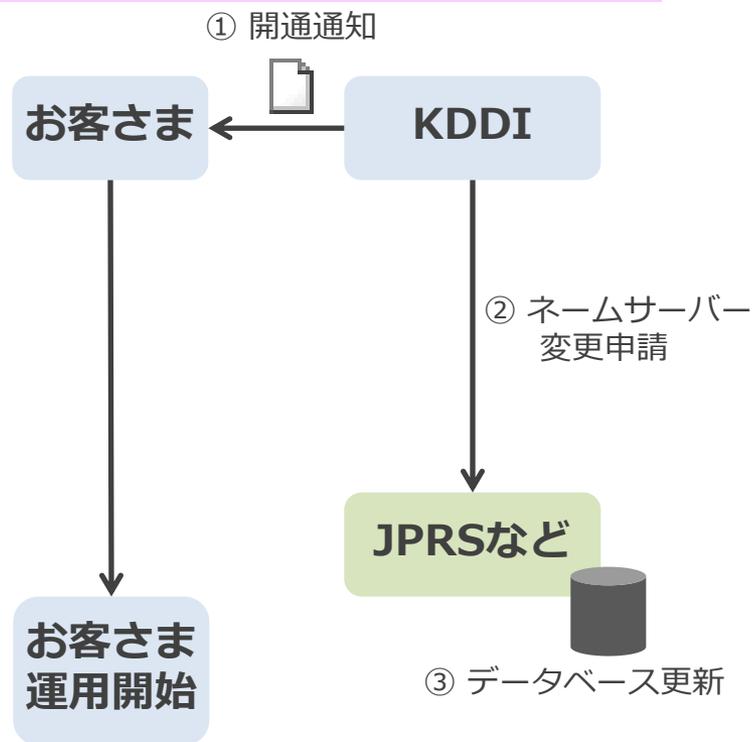
メールの受信は新旧2つのサーバーどちらからも行えるよう、メールソフトを設定してください。  
現在運用中のサーバーの仕様によっては、併用できない場合もあります。その場合には、現在運用中のサーバーの事業者様にお問い合わせください。  
本メールサーバーはウェブと同様、IPアドレスベースでアクセス可能です。お客さまのIPアドレスは開通通知書の『ご契約サーバー情報』に記載されています。

# ドメインの維持管理について

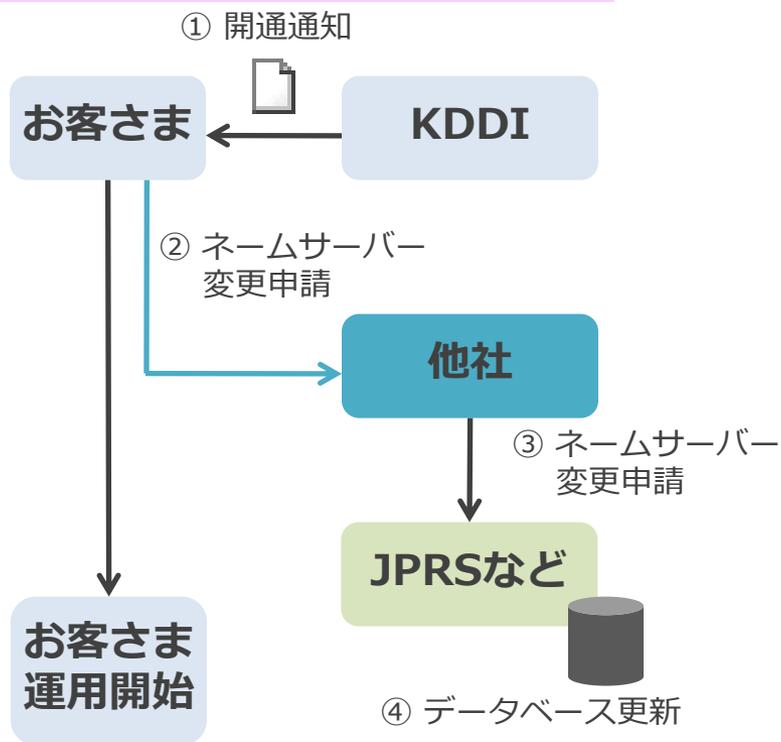
他社などからサーバー移転されるお客さまはご確認ください（ネームサーバーの更新）。

ドメイン名の維持管理（指定事業者）にKDDIをご利用（または今回KDDIへ変更）のお客さまは、弊社にて新しいネームサーバーの情報をJPRSなどへ更新する申請を行いますので、お客さま作業は発生いたしません。しかし、ドメインの維持管理を他社にて行われている（KDDIへ変更しない）お客さまは、新しいネームサーバーの情報を現在の指定事業者へ連絡し、そこからJPRSなどへ申請していただく必要がありますので、ご注意ください。

## ドメイン名をKDDIへお預けのお客さま



## ドメイン名を他社へお預けのお客さま



# ご利用開始

ウェブサイト、メールの運用を開始できます。

## ■ 新規ドメイン取得のお客さま

開通通知送付後、お客さまのコンテンツ、メールアカウントの準備ができ次第、運用開始が可能です。  
新しいドメイン名をぜひ、有効活用ください。

## ■ 他社からの移転されたお客さま

開通通知書の『ネームサーバー変更予定日』後から、運用開始が可能です（ドメイン・DNSをKDDI  
ご利用のお客さま）。

ドメイン（DNS）の情報は徐々に伝わっていきますので（1～2週間程度）、その後、不要になった  
旧サービスの解約をお忘れないうちにお気をつけください。

# バックアップ機能の申込み

バックアップ機能は、1日1回サーバー内のデータが自動的に保存されます。  
※7日前までのデータを保存します。

## info

### 【ご注意】

- ・バックアップ機能のご利用にあたっては、別途、申し込みが必要です(無料)。
- ・主契約ドメインのデータのみバックアップを行います。
- ・バーチャルドメインのデータはバックアップを行いません。
- ・バックアップ機能は、サーバー内のデータをコピーして保存するサービスとなり、データのリストア(復旧)を行うものではありません。データの復旧に関しては、お客さまにて行っていただくようお願いいたします。
- ・データの復旧方法につきましては、弊社サポート対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

## info

### 【バックアップ機能の申込み】

- ・KDDIホスティングサービスお申し込み  
変更申込書：

<https://www.kddi.com/business/cloud/rental-server/hosting-private/application/>

に、申込用紙をご用意しております。ダウンロードの上、必要事項を記入の上、記載されている申込窓口まで送付してください。

- ・申し込みから開通まで標準10営業日となります。

# バックアップ機能について（その1）

バックアップ機能は、「ユーザー領域」「メール領域」「データベース領域」のコピーを行います。サーバー内のルートディレクトリ以下に「\_user\_system\_backup」という名称のディレクトリを作成し、その中に日付ごとにディレクトリを作成し、その中に各データをコピーします。

※「tar.gz」に圧縮して保存されます。

※1日1回（午前6時）バックアップを行い、7日分保存します。古いバックアップデータから順次削除されていきます。

データを復旧する場合にはお客さまにてFTP接続をして、パソコンにデータをダウンロードしていただき、必要なデータをサーバーにアップロードなどしてください。

## ユーザー領域

ユーザー領域（ウェブデータ）では、以下のディレクトリをコピーします。

html、secure、ftp、virtual

## info

### 【ご注意】

以下のファイル/ディレクトリにつきましては、バックアップサービスの対象外となり、コピーされません。

ファイル/ディレクトリ名	内容
log	ログファイル
_user_system_backup	本サービスで作成されるディレクトリ
html/sys_common	各種アクセスログ分析プログラムのデータ
html/scb	ストアカート関連
html/cgi-bin/.namazurc	サイト全文検索エンジン関連ファイル
html/cgi-bin/namazucgi	サイト全文検索エンジン関連ファイル
secure/scb	ストアカート関連

# バックアップ機能について（その2）

## データベース領域

MySQL、PostgreSQLのdumpを行いバイナリ形式で保存します。

## メール領域

各メールアドレスごとに圧縮して保存します。

## info

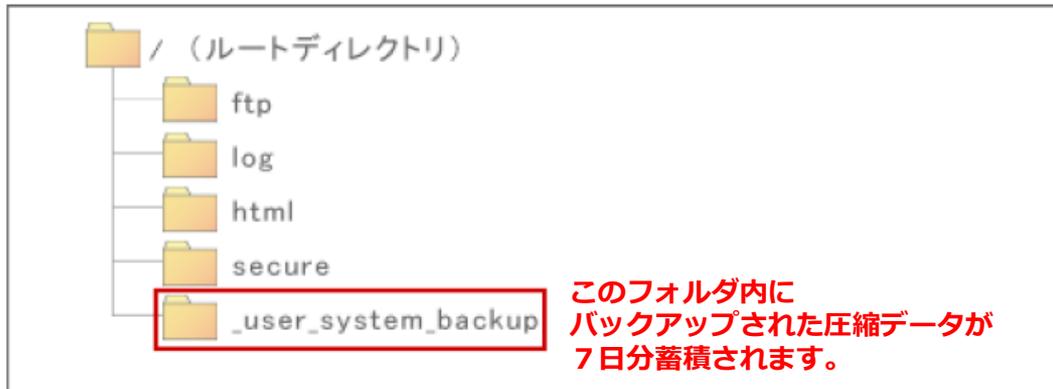
### 【ご注意】

メールソフトの設定でメールを「サーバーに残す」設定にしている場合やウェブメールなどでメールを削除されている場合には、コピーされません。

コピーをご希望の場合には、メールソフトの設定でメールを「サーバーに残す」設定にさせていただくとともに、ウェブメールなどでメールを削除しないようにしてください。

# バックアップ機能について（その3）

バックアップ機能にて、コピーされるデータは、以下のディレクトリに蓄積されます。



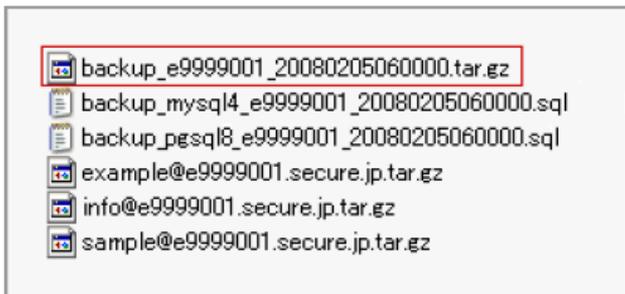
## ユーザー領域（ウェブデータ）

ユーザー領域のデータにつきましては、以下の形式で保存されます。

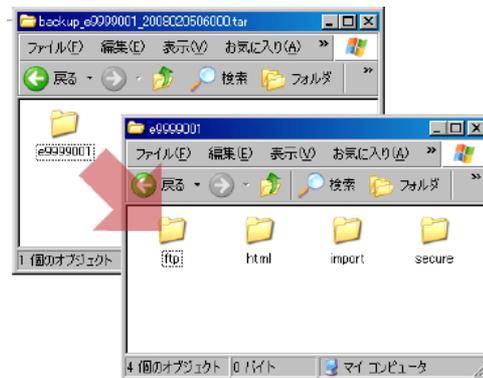
backup\_{USER\_ID}\_{DATE}.tar.gz

例 backup\_e9999001\_20071002060000.tar.gz

※「DATE」はバックアップ取得時間が入ります。



解凍しますと「ユーザID」のフォルダがあり、その中に「html」や「secure」フォルダがあります。



# バックアップ機能について (その4)

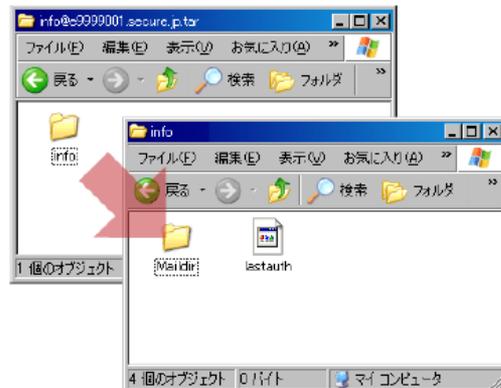
## メール領域

ユーザー領域のデータにつきましては、以下の形式で保存されます。

メールアドレス.tar.gz  
 例 info@example.jp.tar.gz

- backup\_e9999001\_20080205060000.tar.gz
- backup\_mysql4\_e9999001\_20080205060000.sql
- backup\_pgsql8\_e9999001\_20080205060000.sql
- example@e9999001.secure.jp.tar.gz
- info@e9999001.secure.jp.tar.gz
- sample@e9999001.secure.jp.tar.gz

解凍しますとアカウント名 (infoなど) のフォルダがあり、その中に「Maildir」フォルダがあります。



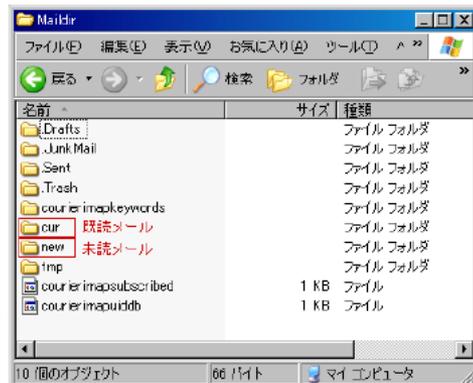
## info

### 【ご注意】

「Maildir」フォルダの中にある以下のフォルダにメールが保存されています。

ファイル/ディレクトリ名	内容
new	バックアップ時点での未読のメールが保存されます。
cur	バックアップ時点での既読のメールが保存されます。

※上記以外のファイルやディレクトリは、ウェブメール使用時などに作成されるシステムファイルとなります。



# バックアップ機能について（その5）

## データベース領域

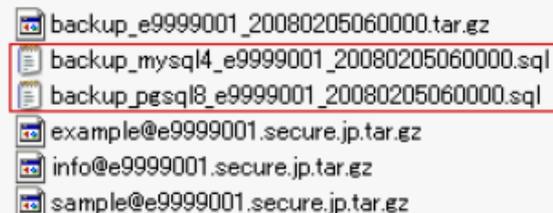
データベース領域のデータにつきましては、以下の形式で保存されます。

backup\_mysql{Version}\_{データベース名}\_{DATE}.sql MySQLのデータ

Backup\_pgsql{Version}\_{データベース名}\_{DATE}.sql PostgreSQLのデータ

※「DATE」はバックアップ取得時間が入ります。

「Version」はMySQL、PostgreSQLのバージョンが入ります。



backup\_e9999001\_20080205060000.tar.gz  
backup\_mysql4\_e9999001\_20080205060000.sql  
backup\_pgsql8\_e9999001\_20080205060000.sql  
example@e9999001.secure.jp.tar.gz  
info@e9999001.secure.jp.tar.gz  
sample@e9999001.secure.jp.tar.gz

# バーチャルドメインの追加について

サーバー上に複数のドメインを設定し、サイトを構築できます。それぞれにグローバルIPアドレスが付与されるため、IPアドレスでのアクセスはもちろん、各機能もサイトごとにご利用いただけます。各プランでご利用いただけるバーチャルドメインの設定数は以下のとおりです。

M100	M200	M300
14個	30個	120個

## info

### 【ご注意】

- ・上記、個数は、主契約ドメインを含みます。
- ・バーチャルドメインで設定されたドメイン(サイト)のプラン変更はできません。
- ・各プランの設定個数を超えたお申し込みはお受けできません。

## info

### 【バーチャルドメインの追加の申し込み】

- ・KDDIホスティングサービスお申し込み  
(<https://www.kddi.com/business/cloud/rental-server/hosting-private/application/>) に、申込用紙をご用意しております。ダウンロードの上、必要事項を記入の上、記載されている申込窓口まで送付してください。
- ・申し込みから開通まで標準 10 営業日となります。

# ご利用可能なツールとパスのサーバー情報（1）

ご利用可能なツールのパスとサーバー情報は、コントロールパネルの「お客さま情報 > プログラムのパスとサーバーの情報」に掲載しております。※最新情報は、コントロールパネルをご確認ください。

## ■ユーザー情報

ユーザID	hogehoge (例)
httpドキュメントルート	/usr/home/hogehoge/html
httpsドキュメントルート	/usr/home/hogehoge/secure

## ■バージョン情報

OS	FreeBSD 6.2
Perl	5.8.8
PHP	5.2.4 / 4.4.7
Python	2.4.3
Ruby	1.8.4
MySQL	4.0.27 (port 3306) / 5.0.45 (port 3307)
PostgreSQL	8.1.10 (port 5432)
Httpd	Apache/1.3.34 Ben-SSL/1.57 (Unix)
MTA	qmail 1.03

# ご利用可能なツールとパスのサーバー情報（2）

## ■パス情報

Perl	5.8.8	/usr/local/bin/perl
Perl	5.8.8	/usr/bin/perl
Python	2.4.3	/usr/local/bin/python
Ruby	1.8.4	/usr/local/bin/ruby
Sendmail	(qmail)	/usr/sbin/sendmail
Nkf	2.0	/usr/local/bin/nkf
gzip	1.2.4	/usr/bin/gzip
uuencode	-	/usr/bin/uuencode
uudecode	-	/usr/bin/uudecode
ImageMagick	6.2.0	/usr/local/bin/convert

## ■その他モジュール情報

PHP iniの設定情報	(Webにてご確認ください。)
Perlモジュール(標準以外)	(Webにてご確認ください。)
Rubyモジュール(標準以外)	Ruby/DBI, PostgreSQL拡張モジュール MySQL拡張モジュール
Apacheモジュール(標準以外)	mod_auth_mysql,mod_auth_pgsq

## FAQ

Question	Answer
コントロールパネルのユーザーID、パスワード (お客さまサーバー情報) を忘れた!	法人お客さまセンターまでお問い合わせください (アクセス番号をご用意ください)。 <a href="http://www.kddi.com/business/support/contact/cloud/">http://www.kddi.com/business/support/contact/cloud/</a>
メールの送受信ができない!	以下を確認してください。 <input type="checkbox"/> 送信の前に、受信を行う (POP before SMTPをご利用の場合、受信を行っていないと送信できません) <input type="checkbox"/> ご利用中のISPでOutbound Port25 blockingを導入している場合は、25番ポートを利用せずに、SMTP認証で587番ポートを利用する <input type="checkbox"/> アカウント名 (ユーザーID) とパスワードが間違っていないか <input type="checkbox"/> ドメイン名でなくIPアドレスで設定する 以上を確認しても解決しない場合は、サーバーもしくはネットワーク障害の可能性がります。法人お客さまセンターまでご連絡ください。
FTPでアクセスできない! (もしくは動作が不安定である場合)	以下を確認してください。 <input type="checkbox"/> コントロールパネルでFTPアカウントを設定したか <input type="checkbox"/> FTPクライアントソフトで接続の設定を『パッシブモード (PASVモード)』に切り替える <input type="checkbox"/> ドメイン名でなくIPアドレスで設定する 以上を確認しても解決しない場合は、法人お客さまセンターまでご連絡ください。
(ドメインで) HPが表示されない!	以下を確認してください。 <input type="checkbox"/> IPアドレスでアクセスする <input type="checkbox"/> ほかのHPは表示されるか <input type="checkbox"/> DNSの変更申請をしたか <input type="checkbox"/> ドメインの維持期限が過ぎていないか 以上を確認しても解決しない場合は、サーバーもしくはネットワーク障害の可能性がります。法人お客さまセンターまでご連絡ください。
自作CGIを利用したい!	お客さまが作成されたCGIプログラムのご利用はできますが、動作などに関してはサポート対象外となります。プログラムの動作によっては (サーバーに負荷を与えるような場合)、弊社よりご連絡いたします。

## FAQ

Question	Answer
メールアドレス (アカウント) のパスワードを忘れた!	メールアドレス (アカウント) のパスワードを忘れてしまった場合には、『コントロールパネル > メール > メールアカウント管理 (管理者用)』にてパスワードを再設定してください。
SSH、Telnetは使えますか?	SSHでのログインは可能ですが、セキュリティ上Telnetは使用できません。SSHのご利用はお客様サーバー情報のセキュアシェル (SSH) をご確認ください。
1通当たりの送受信可能な容量は?	250MBまで送受信できますが、送信する際は、宛先のプロバイダーで容量を制限している場合が多いので、容量の大きいファイルのやりとりにはGet a File をご利用ください。
サーバー上に蓄積されているメールの保存期限はありますか?	保存期間は特にもうけておりません。自動的にメールが削除されることはありません。
ソフトの配布をしたい!	AnonymousFTP機能を使えば、パスワードやIDを入力しなくても誰でもダウンロードできるFTPサイトを作ることができます。
PHPはモジュール版で動作しますか?	弊社指定の.htaccessを設置すれば、そのまま動作いたします。 また動作するPHPのバージョンも.htaccessで指定でき、大変便利です。 詳しくは『オンラインヘルプ』 <a href="http://pro.doc.secure.jp/">http://pro.doc.secure.jp/</a> の『PHP』をご覧ください。
サーバーのアプリケーションのバージョンはどうなっていますか?	最新の情報はコントロールパネルに表示されています。コントロールパネルにログイン後、『お客様情報 > プログラムのパスとサーバーの情報』からご確認ください。
障害やメンテナンス情報はどこでわかりますか?	障害およびメンテナンス情報は、弊社ウェブサイトにて随時ご連絡いたします。
コントロールパネルを利用するためのブラウザに制限ありますか?	Windows (R) OSでは、Internet Explorer 6.0 SP2以上、Macintoshの場合はInternet Explorer 5.0 以上でご利用してください (Internet Explorer以外のブラウザの場合、一部機能が正常に動作しないことがあります)。

# サービスにおけるご注意事項など

## ■ サービスにおけるご注意事項：

- ・ 本サービスは、root権限は付与しておりません。
- ・ DNSについては、お客さま独自のレコードを追記することはできません。
- ・ ご契約いただいたドメインのサブドメインの利用については、ウェブサイトのみが対象となります。メールは対象外です。
- ・ メールについて、ほかの (ASP型などの) ウィルスチェック、スパムチェックと併用することはできません。
- ・ スпамチェックは、メールの件名に"[SPAM]"と付与する『スタンプ型』となります (隔離BOXはございません)。
- ・ オープンソース、他社開発のソフトウェアの動作については、その動作をすべてを保証しているものではありません。
- ・ オープンソース、他社開発のソフトウェアについてはサポート範囲外となります。
- ・ マニュアル、開通通知については、冊子または紙で郵送は行いません。オンラインヘルプまたはメールとなります。
- ・ やむを得ず、障害またはメンテナンス時にはサービスを停止することがございます。
- ・ 解約希望の際は、1カ月前までに書面でご連絡ください。解約時のデータ削除は毎月1日となります。
- ・ プラン変更を行う際は、サーバーを新規に開通させますので、お客さまにてデータ移行作業が必要となります。

## ■ 契約・料金におけるご注意事項：

- ・ 最低利用期間がございます (6カ月)。これ以前にご解約された場合は、別途違約金 (残月額分) が発生します。
- ・ プランを変更を行う際は、解約、新規のお手続きが必要です。また、変更されるプランは、新規契約のため、初期費用が発生します。

## ■ そのほかについては、『ホスティングサービス契約約款』に定めるところによります。